

○ 第四次葉山町総合計画前期基本計画（案）「基本理念2 “暮らしを守る”葉山」に関する総合計画審議会（平成26年8月26日開催）の主な意見について

No	頁	基本施策	項目	主な意見
1	29	健康づくりの支援・推進	単位施策	単位施策9-01「自発的な健康づくりの支援」の中に“スポーツ”を通じた健康づくりの視点が出てきてもいいのではないかと。
2	29	健康づくりの支援・推進	単位施策	P28の「まちづくり指標」に「運動を週3回以上している青年期（19歳から39歳）の人の割合」を設定しているが、単位施策に運動（スポーツ）に関する取り組みの記述がない。
3	30・31	地域医療体制の充実	現状と課題 単位施策	総合病院の誘致にかかる取り組みを記述するべきではないかと。
4	32・34・36	地域福祉の充実 高齢者福祉の充実 障害児・者福祉の充実	まちづくり指標	「基本施策11 地域福祉の充実」、「基本施策12 高齢者福祉の充実」、「基本施策13 障害児・者福祉の充実」については、「基本施策がめざす姿」とその達成状況を測る「まちづくり指標」が合っていない（関連性が低い）のではないかと。
5	34	高齢者福祉の充実	まちづくり指標	介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護保険サービスや高齢者福祉サービスにかかるサービス充足率を用いてはどうか。
6	34	高齢者福祉の充実	まちづくり指標	「要支援・要介護認定率」は、意図的に結果を操作する（認定率を低くする等）のではという誤解を招く可能性があるため、再考すべきではないかと。
7	34	高齢者福祉の充実	まちづくり指標	介護保険制度をうまく利用することにより、よりよい生活ができるようになること大事であるので、単に「要支援・要介護認定率」を下げることを“ものさし”とするのが果たして適当かどうか。
8	35	高齢者福祉の充実	単位施策	高齢者を地域で支える具体的な取り組みとして、小規模多機能型居宅介護についての記述ができないかと。
9	35・37	高齢者福祉の充実 障害児・者福祉の充実	単位施策	ソフト面による取り組みだけでなく、公共施設や駅におけるバリアフリー化の推進といったハード面の取り組みに関する記述があるべきではないかと。
10	36	障害児・者福祉の充実	まちづくり指標	「相談支援事業所への相談件数」は増やすことをめざそう値としているのは、現行の相談対応体制が不十分であることから設定したものと思われるが、一方で悩みごとを減らすという視点から、相談件数の減らしていくことをめざそう値とすることもできる。“ものさし”として適当か、再考すべきではないかと。
11	37	障害児・者福祉の充実	単位施策	単位施策13-02「就労の促進」中の「作業的なの”的なの”は現代風の話し言葉なので用いるべきではないかと。
12	37	障害児・者福祉の充実	用語の解説	「一般就労」と「福祉的就労」の定義（最低賃金法の適用等）を再確認してほしい。
13	38	緑の保全	現状と課題	農作物等への被害が拡大しているイノシシに関する記述がない。
14	39	緑の保全	単位施策	単位施策14-02「有害鳥獣の防除と在来希少生物の保護」において、有害鳥獣の防除だけでなく、「増やさない、逃がさない」といった環境教育による取り組みも記述すべきではないかと。
15	39	緑の保全	単位施策	「基本構想」P12では、「町域を越える緑の保全」に関する記述があるにもかかわらず、「基本計画」においてはそれに関連する記述がない。
16	39	緑の保全	協働のできること	協働による間伐材の利用についても記述できないかと。
17	40	循環型社会の形成	現状と課題	「現状と課題」にあるように、葉山町における一般廃棄物処理施設の整備は、人口規模から考えてもあり得ないと思う。整備しないことについて町民に理解してもらえるような説明をきちんとすることが大事である。
18	40	循環型社会の形成	現状と課題	「現状と課題」中に“全町での「戸別収集」を導入”とあるが、一体的な取り組みとして「資源ステーション収集」も併せて表記するべきではないかと。
19	40・41	循環型社会の形成	現状と課題 単位施策	「一般廃棄物」の用語の解説が必要である。
20	40・41	循環型社会の形成	現状と課題 基本方針	「基本構想」P12では、“ゼロ・ウェイスト”に関する記述があるにもかかわらず、「基本計画」においてはそれに関連する記述がない。
21	41	循環型社会の形成	単位施策	「まちづくり指標」において「生ごみ処理機普及世帯率」を設定しているが、インセンティブが働く（動機づける）ような取り組みが必要ではないかと。
22	41	循環型社会の形成	単位施策	ごみの資源化・減量化推進の意識啓発の視点から、どれくらいのごみの排出量があって、そのうちのどれくらい処分量や再生原料としての買取量があったといったような報告を重量ベースで定期的に報告するしくみを考えてほしい。

23	41	循環型社会の形成	単位施策	ごみの発生抑制に関する記述がない。“環境教育”や“情報提供”、“可能な限り環境に負荷をかけない”といった表現を入れるべきではないか。
24	41	循環型社会の形成	単位施策	単位施策15-02「ごみの安定処理」にかかる記述は抽象的すぎる。少なくとも平成31年度にはこんなことができているぐらいのことを記述してほしい。
25	43	地球温暖化対策の推進	単位施策	基本方針には蓄エネの推進とあるが、具体的な取り組みが書かれていない。
26	44～47	公共下水道事業の推進 合併処理浄化槽の整備	基本施策の統合	基本施策17「公共下水道事業の整備」と基本施策18「合併処理浄化槽の整備」は施策分野である「水環境」という視点からひとつに統合できないか。
27	45	公共下水道事業の推進	単位施策	単位施策17-01「公共下水道の整備促進と普及・促進」に下水道課所管の接続工事費に対する補助制度を記載するべきではないか。基本施策18「合併処理浄化槽の整備」の方には記載がある。
28	45・47	公共下水道事業の推進 合併処理浄化槽の整備	単位施策	水質保全のための取り組みとして、油を流さない等発生抑制に関する記述を入れるべきではないか。
29	48	消防・救急体制の確立	まちづくり指標	「消防車両配備率」の「めざす値」は“100%”とするべきではないか。
30	49	消防・救急体制の確立	単位施策	単位施策19-01「消防組織の強化」に女性消防団員の入団促進とあるが、女性の入団に伴う施設環境の整備等に関する記述も検討すべきではないか。
31	50・51	災害に強いまちづくりの推進	現状と課題 単位施策	“複合災害”に対する何らかの検討について記述できないか。
32	52	防犯・交通安全対策の推進	現状と課題	「現状と課題」中に「地域における人間関係の希薄化」や「犯罪の抑止機能が低下」という表現があるが、きちんと事実確認したものが確認してほしい。
33	52	防犯・交通安全対策の推進	現状と課題	「クルマ社会」という言葉の定義をきちんと整理するべきではないか。
34	52	防犯・交通安全対策の推進	現状と課題	「現状と課題」中に「運転免許所持者の増加」や「通過交通量の増大」とあるが、個人的な感覚では逆の認識である。交通事故被害者も長期的に見ると減少傾向ではないか。
35	53	防犯・交通安全対策の推進	単位施策	単位施策21-01「防犯対策の推進」中の“タイムリーな防犯情報の提供”とあるが、“タイムリーな”という表現は計画書中の表現としてはふさわしくないのではないか。
36	共通	計画全般		個人を示す表現が「自身の」や「自らが」や「町民一人ひとりが」と、ページによって統一されていない表現となっている。計画全体を通して整理した方がよいのではないか。
37	共通	計画全般		一部の「協働でできること」において、ボランティア団体の固有名称が表記されている箇所があるが、計画全体を通じての固有名称の扱いについて整理するべきではないか。
38	共通	計画全般		今回の基本計画に掲げている項目は、「めざす姿(目標)」、「まちづくり指標(ものさし)」、「協働でできること」等とても良い取り組みである感じている。
39	共通	計画全般		「空き家」の活用等に関する記述が各基本施策中で散見されるが、個別の施策だけでなく、大きな政策課題としてとらえられないか。
40	共通	計画全般		基本施策ごとに施策を所管する課等を記載しておくとうりではないか。